城端地域まちづくり検討会議 会議録

城端行政センター

件　名	城端地域第12回まちづくり検討会議		
日　時	平成30年11月7日（水）	場　所	城端庁舎 2階 202会議室
出席者	〔検 討 会 議 委 員〕11名 〔ファシリテーター〕能登貴史		
内容	前回分科会ごとに協議検討した内容についてより具体的な方向性の検討協議		
詳細	【これまでの議論の骨格について確認】 ・庁舎跡地に複合交流施設を整備、あわせて図書館、勤労青少年ホーム、美山荘、保健センター、共同福祉施設（商工会）、起業家支援センターの6施設を再編統合。まずはこのことについて理解をいただく。 ・その上で、複合交流施設は図書館機能を中心に地域住民や観光客など誰もが気軽に集えるスペースを目指す。→ 子育て世代から高齢者までが集う、にぎわい拠点であるための仕掛け・システム等の検討 **【<u>複合交流施設</u>】** **＜何が入る？どのような機能＞** ・図書館（司書が常駐　※図書コーナー・読み聞かせ 等 ・行政窓口機能（行政センター） ・美山荘機能の一部（公衆浴場施設を除いた社会福祉協議会城端支所機能） ・会議室（貸室）スペース　→　高齢者向け、児童・子育て世代向け（みんなで子育て） ＋共有事務スペース（行政センター、商工会、社会福祉協議会・・・） ・城端型「まちの駅」＝ 観光の拠点（観光協会城端支部を取り込み：コンシェルジュ） ・ペタンクコート（5m×15m）や軽トラ市にも使える多目的（屋外）スペース **[近隣施設・再編統合施設との関連]**　（ ○ 継続利用・連携 、× 取り壊し ） ×城端庁舎 ・行政センター窓口機能 → 複合交流施設 ・土地改良区、小原（曳山）工房 → 他施設（要検討調整） ×勤労青少年ホーム ・中央公民館機能、城端公民館、自治振興会、会議室 → 旧商工会館 ・カルチャースクール（団体数約20？＝要精査） → 受け皿を検討（防音のスタジオなど不足する機能を複合交流施設に） ×図書館、勤労青少年ホーム、美山荘・保健センター、起業家支援センター ○じょうはな座 ドッキング（渡り廊下で連結し一体化）、回遊性 ○城端小学校　特別教室棟の多目的利用 （大型の調理室、和室、小ホール等、カルチャースクール等の受け皿として活用可能） ○その他（連携使用を模索する施設等） サクラクリエ、JA会館、城端別院善徳寺、観光協会 ○旧共同福祉施設（現商工会館） → 商工会移動後、城端公民館と城端自治振興会事務局が勤労青少年ホームから移動 **≪施設の役割・運営方法等≫** **地域住民や観光客が世代を超えて集い、交流し、にぎわいを創出する施設** ・情報の集約と発信：地域内の情報をプールし、求めている人に適切にリリース ⇒ 担い手としての「コンシェルジュ」、「コーディネーター」の養成が急務かつ重要 ・施設の管理運営は指定管理（受け手は商工会？新たな管理団体？） ・新築建物は大きさを求めない ⇒ ハコではなくヒトで地域課題を解決したい ※他の施設も積極的に連携して活用 ・災害発生時の避難場所（大規模＝現庁舎規模）としての対応は考えない（考えられない） ・土産品等の販売スペースは考えない（空いているスペースで何とでもなる） **【<u>子育て支援・高齢者の集う場</u>】** **＜どうやって人を集めるか？ どうすれば人が集まるか？＞** 子どもの「遊び・学び・楽しみ」をサポート　→　また来たくなる お年寄りの方が、祭りや唄・遊びなどを教えて、子育てアドバイスにも対応し、子育て世代をサポート → 世代を超えて子育てできる地域 → 子育てしやすい地域 ＝ 住みやすい地域 → 移住・定住促進（行政が支援） → 祭りや地域の後継者の育成・発掘 **【<u>仕掛け・システム・情報発信</u>】** **＜「ｎｅｗ（新しい）この場所」で 市（行政）と市民が一緒に 情報発信 ＞** **<u>コンシェルジュ</u>を育てる** 「城端が好き」、「人と話すのが好き」な老若男女色々な人 常に<u>複数人</u>　他の仕事もしながら・・・		

	〔役割〕地域内の施設利用案内、公共交通情報や道案内、イベントの案内、利用者受付、周辺美化 等 応対をサポートするためのデータベースが必要 ・集める情報のテンプレート、データベース、タグ付け・画像で管理など･･･ ・イベント（オープニング・定期）によるＰＲも **行政に望むこと** ・金銭的支援（雇用、人材育成、ソフト面運用） ・公認（バックアップ）他機関との基盤作り ・ネットワークの連携（オンデマンドバス） 等 **市民(自分たち)で取り組むこと** ・情報提供 ・施設活用（情報収集・イベント etc） ・雰囲気づくり（来たくなる場所） **→解決できる事　◎既にある施設の活用　町中のにぎわい創出 ⇒ 城端らしいまちづくり** **【にぎわい】** **＜まちの駅＞** ・カフェ、マルシェ、軽トラ市、ペタンクコート **「城端にしかないものは何か？」** お祭り、桜ヶ池、城端別院善徳寺、五箇山の入口 **[市民（自分たち）で取り組むこと]** ・ボランティアガイド ― 10 名程度必要？ ・コンシェルジュ ・カフェ、軽トラ市などの人材確保 ・情報収集 ・観光案内 ― 駅の案内所から派遣（観光協会の城端支部として） **[行政に望むこと]** ・地域間のネットワーク ― 商工会にも協力してもらう **◇解決できる課題** ・世代間交流 → アイデアが出る・人が集まる → にぎわい ⇒ 街に活気が出る 意見交換に向けた資料作成･･･フローチャート等で図化して分かりやすく
備考 課題・宿題 今後の対応等	【次回以降】 第 12 回：11 月 7 日(水)　第 13 回：11 月 20 日(火) 地域審議会委員の皆さんとの意見交換 第 14 回：12 月 4 日(火) まちづくり検討会議地域別意見交換会